

ジャイアン

漫画に描かれていないジャイアンの青年期を想像し、ジャイアンの家を提案する。



藤子・F・不二雄の漫画作品『ドラえもん』に登場する。本名 剛田 武。

幼少期は粗暴で自己中心的の象徴の彼も、将来は「スーパージャイアンズ」の経営者として部下に慕われる身である。

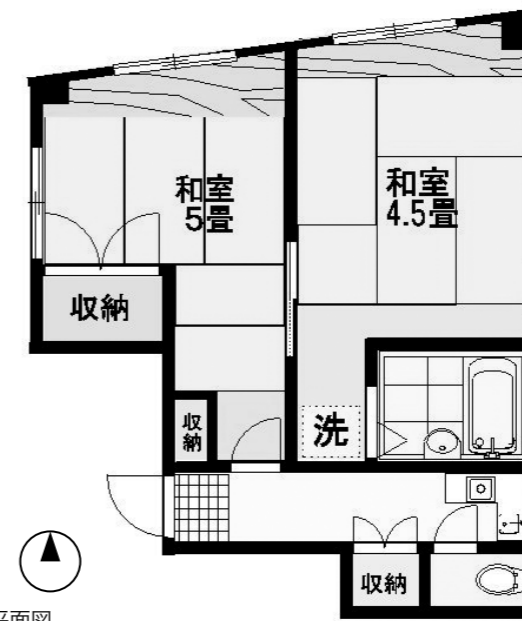
物件情報



外観



内観



平面図

所在地 : 東京都新宿区中落合3丁目
都営大江戸線 落合南長崎駅 徒歩6分
西武池袋・豊島線 椎名町駅 徒歩11分

物件種目 : 賃貸マンション

賃料 : 5.3万円

間取り : 2K(和 5・4.5 K 3)

専有面積 : 33.00m²

築年月 : 1973年5月

階建 / 階 : 3階建 / 2階

商店街沿いにある

キャラクターの2面性と成長

DIRTY HERO



ジャイアン

「おまえのものはおれのもの、おれのものもおれのもの」

HERO



剛田 武

「心の友よ!」



青年期の剛田武

ブローグ

歌手を志し、持ち前の行動力で多くの芸能プロダクションを受験するも不合格。

夢を諦めきれず、高田馬場の専門学校に入学。

「学校から近い」「家賃が安い」「広い」

という理由で落合南長崎の商店街に一人暮らしを始める。

学校を真面目に通学(昔から学校は好き)する傍ら、アルバイトを始めるも短気な性格が災いし、どれも長続きせず。クラスメイトの家で食事をし、日用品や漫画は学校やクラスメイト宅から拝借し、生計を立てる。次第に家にはモノが溢れるようになる。

創業期

モノが増え過ぎたため、収集したモノをクラスメイトに強引に値段を付けて売ようになる。一方で専門学校の講師により歌唱力は飛躍的に上昇。持ち前の声量と相まってベランダからの歌が商店街の人々に評判になる。

変革期

持ち前のキャラクターと歌によって商店街の方々と交流を図り、不要なモノを譲ってもらい、それを一人暮らしのクラスメイトに販売。クラスメイトからも感謝される存在になり、商店街のフリーマーケットのような役割になる。

飛躍期

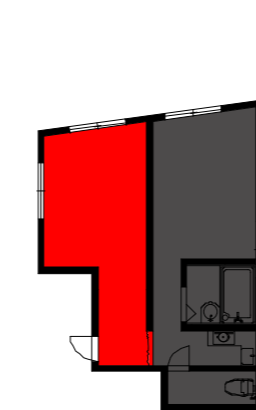
エンターテインメント性と商品保管量を高める為、ベランダ付近を中心にリノベーションを実施。ステージ方式によるライブと集めたモノの実演販売を開始。

早稲田の近隣の学校や商店街からも評判により客が訪れるようになる。衰退しかけた商店街を活性化するヒーローとなった。店名を「剛田商店」と命名し、本格的に仕入れを行うようになる。利益は右肩上がり続ける。

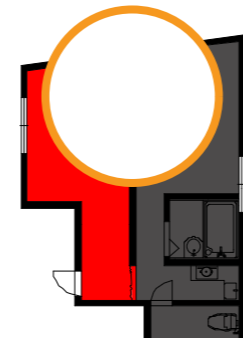
エピソード

専門学校を卒業。商売の面白さと、歌は何処でも出来るという考えから、商売人の道に。早稲田通りに「剛田商店2号店」をオープン。フリーマーケットと商店街からの1号店ルートの食品を販売し、好評を得る。

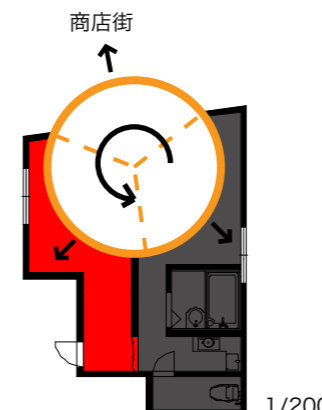
業績は確実に拡大し、後にスーパージャイアンズの礎となる。ジャイアンの豪快な部分は残しつつ、部下からも尊敬される一人の「剛田 武」になる。



「2面性のある部屋」
いろいろな人が訪れる部屋
自分だけの部屋



「ジャイアンのためのマル」
ジャイアンを語る上で
重要な3つの要素を
含んでいる。



回転ドアにより、3つの要素が
「2面性のある部屋」と
「商店街」を行き来することで、
ジャイアンの意識とまわりの様子
が変化する。

様子



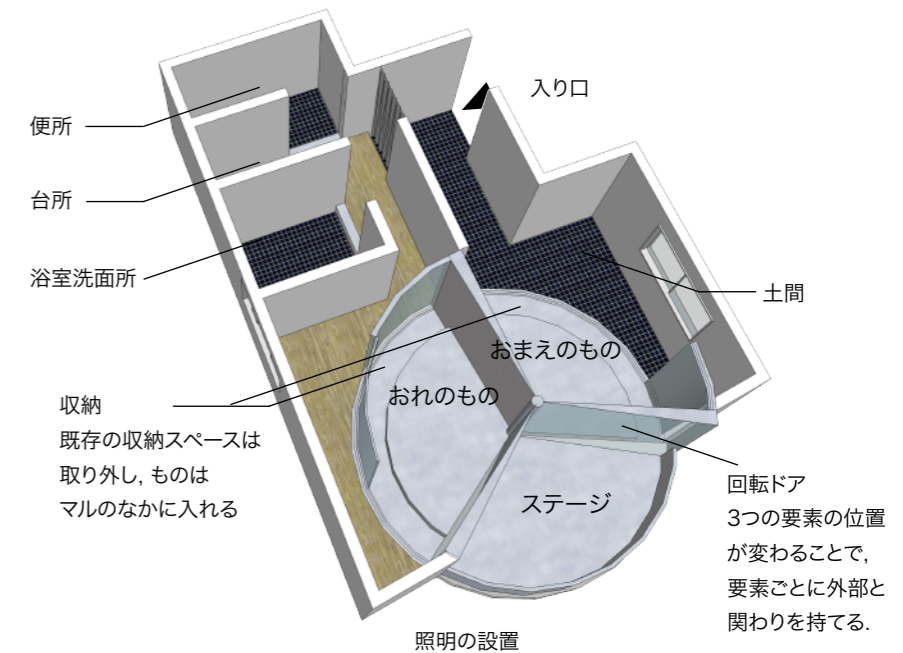
おまえのもの：集めたモノ



おれのもの



ステージ



照明の設置

回転ドア
3つの要素の位置
が変わることで、
要素ごとに外部と
関わりを持てる。